

平成29年度事業計画

(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

平成28年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- | | | |
|-------------------------------------|----|-----------|
| 1) 学術講演会 | 1回 | } 合同開催の予定 |
| 2) 研究発表会 | 1回 | |
| 3) 現地見学会 | 1回 | |
| 4) 講習会 | 1回 | |
| 5) ダム工学会賞 表彰 | 1回 | |
| 6) 活性化関連活動 | | |
| ・地域活動 | | |
| ・若手の会 | | |
| ・ダムなんでも相談室 | | |
| ・“with Dam★Night 東京、東北、中部・近畿、九州で開催。 | | |
| ・ダム技術史講演会の開催。 | | |

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

VOL. 27 No.2 平成29年 6月 発行予定 (平成29年 6月15日号)

VOL. 27 No.3 平成29年 9月 発行予定 (平成29年 9月15日号)

VOL. 27 No.4 平成29年12月 発行予定 (平成29年12月15日号)

VOL. 28 No.1 平成30年 3月 発行予定 (平成30年 3月15日号)

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

3) 戦略的・効果的な広報の実施

ダム工学会ホームページに平成28年度付与したバナー「ダムを歩こう」を活用し、一般の方にダムに関する見学会等のイベント情報とダムの役割などの知識の提供を行う。また、活性化関連活動を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

4. 研究活動

1)～7)の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 平成29年度活動内容

1) コンクリートダム研究部会

平成28年度に引き続き、「ダムコンクリートの寿命に関するコラム執筆」について討議し、その後、新たな研究テーマについて検討を行う。

2) フィルダム研究部会

平成28年度に引き続き、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびに耐震補強の事例分析」について討議していく。

3) 地質・基礎研究部会

平成28年度に引き続き、「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議していく。

4) 維持管理研究部会

「ダム貯水池の有効利用等に関する事例研究」について、平成29年度までの研究成果をとりまとめ、雑誌「ダム工学」に部会報告用の原稿を作成する。

また、次年度研究に向けた新テーマについて議論し、研究を行う。

5) 施工研究部会

平成28年度に引き続き、「施工中のダム堤体のひび割れの事例収集と対応策に関する研究」について討議し、成果をとりまとめる。

6) 計測管理研究部会

重力式コンクリートダムをフィールドに、GPS変位計測の適用に関して、大学との交流研究事業による研究を実施する。

7) ダム技術史研究部会

平成28年度に引き続き、ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を実施する。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の3テーマを継続する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

ひび割れの生じていないダムの整理（温度応力解析に必要なデータ抽出及び品質管理データ等から強度等の物性値等の推定式の作成）を実施する。

2) GPS変位計システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究

GPS変位計システムを用いた重力式コンクリートダムについて、現地調査ならびに計測結果を整理し、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン（仮題）」に反映させる。

3) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

非破壊試験方法のうち、弾性波を利用した衝撃弾性波法および赤外線サーモグラフィ法を用いてコンクリートのひび割れを評価する。

平成29年度 収支予算

報告 2

(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,480,000	11,480,000	0	
①正会員会費	4,380,000	4,380,000	0	平成28年度計画値(730名)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	100,000	100,000	0	
④賛助会員会費	7,000,000	7,000,000	0	
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,625,000	2,248,000	377,000	
①総務小委員会収入	370,000	370,000	0	第27回通常総会 会費
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	学術研究発表会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,158,000	57,000	第43回現地見学参加費 (大ダム会議と合同開催) 大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	講習会小委員会
⑤表彰関係収入	30,000	0	30,000	技術開発賞公開審査会参考資料代
⑥活性化推進収入	810,000	520,000	290,000	活性化推進小委員会
若手の会	150,000	20,000	130,000	若手技術者勉強会 語りべの会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	CMED会・河川整備基金除く
北海道ブロック	20,000	30,000	△ 10,000	ダム見学会(支部)参加費
東北ブロック	320,000	0	320,000	現地見学会 with dam night会費
中部近畿ブロック	150,000	280,000	△ 130,000	with Dam Night会費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	170,000	190,000	△ 20,000	with Dam Night会費 ダム見学会(支部)参加費 社)九州地方計画協会補助金除く
With Dam Night 2017	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,715,000	1,765,000	△ 50,000	
①会誌一般頒布収入	360,000	360,000	0	購読会員会費
②会誌広告料	1,250,000	1,260,000	△ 10,000	会誌広告料
③抜刷別刷収入	75,000	75,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	70,000	△ 40,000	IST特許料・学術著作権複写
4. 図書出版事業収入	30,000	0	30,000	
5. 雑収入 (①～②計)	1,601,000	1,352,000	249,000	
①補助金収入	1,600,000	1,350,000	250,000	CMED会(20万) 河川整備基金(60万) 九州地方計画協会(80万)
②受取利息	1,000	2,000	△ 1,000	銀行利息
小計 (1～5計)	17,451,000	16,845,000	606,000	
6. 前年度繰越金	13,942,748	13,156,070	786,678	
合計 (小計+6)	31,393,748	30,001,070	1,392,678	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,099,000	11,643,000	△ 544,000	
①研究発表会支出	800,000	800,000	0	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,270,000	1,340,000	△ 70,000	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	250,000	250,000	0	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,389,000	1,873,000	△ 484,000	表彰・選考委員会
⑤広報支出	90,000	380,000	△ 290,000	広報小委員会(ホームページ管理費)
⑥活性化推進支出	6,160,000	5,970,000	190,000	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,500,000	0	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	1,200,000	1,600,000	△ 400,000	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	440,000	440,000	0	ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	390,000	250,000	140,000	現地見学会・WDN 経費
中部近畿ブロック	640,000	570,000	70,000	with Dam Night経費
中国四国ブロック	290,000	260,000	30,000	現地見学会 経費
九州ブロック	1,300,000	950,000	350,000	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
With Dam Night 2017	200,000	200,000	0	with Dam Night 経費
ダム技術史講演会	200,000	200,000	0	対象：会員と一般
⑦調査研究支出	1,140,000	1,030,000	110,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	40,000	40,000	0	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	80,000	120,000	△ 40,000	現地調査等 経費
維持管理研究部会	70,000	70,000	0	現地調査等 経費
施工研究部会	50,000	50,000	0	部会 経費
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	300,000	50,000	250,000	顕彰「ダム技術遺産」経費
交流研究連絡会議	600,000	600,000	0	交流研究補助金3テーマ分
これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題 検討委員会	0	100,000	△ 100,000	平成28年度終了
2. 刊行支出	4,500,000	4,620,000	△ 120,000	
①会誌作成費	4,500,000	4,620,000	△ 120,000	送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑮計)	2,170,000	2,010,000	160,000	
①会場費	400,000	400,000	0	第27回総会 経費等
②会議費	680,000	680,000	0	第27回総会 経費等
③広報費	0	0	0	
④印刷製本費	300,000	310,000	△ 10,000	第27回総会 経費等・ パンフレット作成費
⑤諸謝金	200,000	200,000	0	ダム工学 巻頭言・査読料
⑥消耗品費	90,000	0	90,000	事務局HDD等購入費
⑦通信費	80,000	70,000	10,000	会費請求書 送付等
⑧表彰費	0	0	0	
⑨支払手数料	50,000	50,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑩旅費交通費	50,000	50,000	0	理事会等 交通費
⑪車両費	0	0	0	
⑫保険料	0	0	0	
⑬コンサルタント料	150,000	130,000	20,000	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑭雑費	150,000	120,000	30,000	ダム日本購読料, 日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑮源泉徴収費	20,000	0	20,000	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	17,869,000	18,373,000	△ 504,000	
6. 繰越金	13,524,748	11,628,070	1,896,678	
合計 (小計+6)	31,393,748	30,001,070	1,392,678	